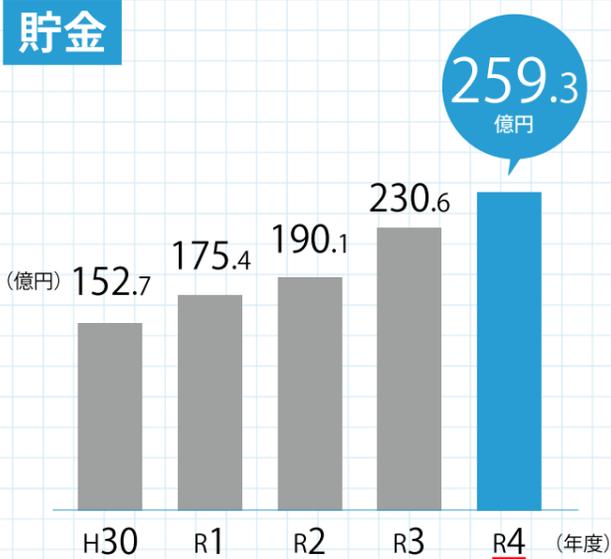
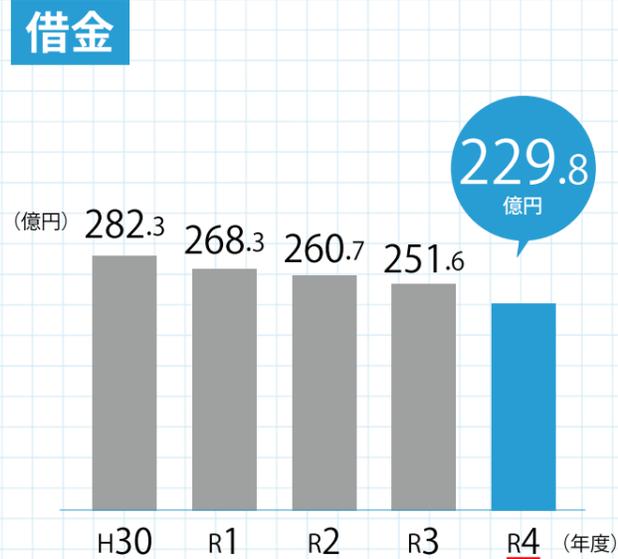


お金のやりくり 貯金と借金

貯金と借金は、中期財政計画に取り組み目標を定めており、毎年度の決算状況を踏まえながら、将来を見据えた財政健全化に継続して努めていきます。



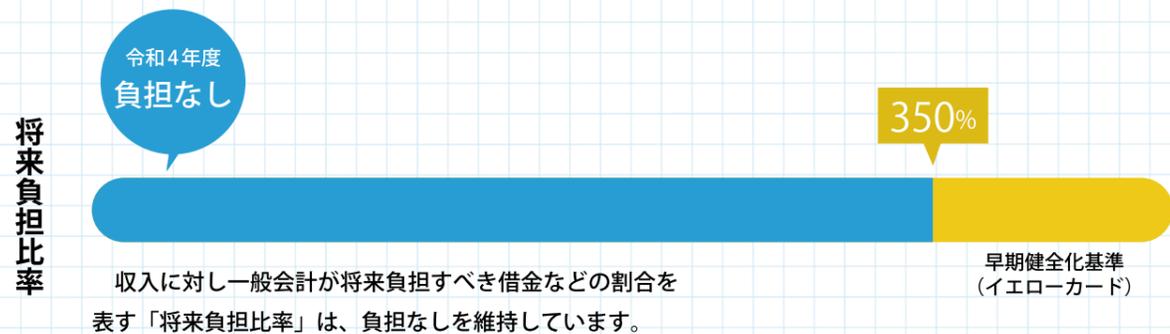
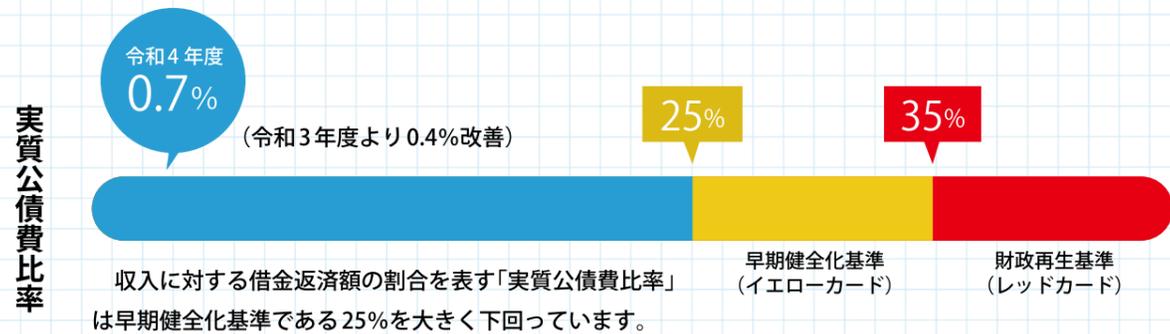
ふるさと応援寄附金や財産売払収入の積み立てなどにより、貯金が前年度から28億7千万円増加し、259億3千万円になりました。



市債の新規発行が前年より減少、返済が増加したため、21億8千万円減少し、残高は229億8千万円になりました。

財政は健全です。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行により、健全化判断比率などの公表が義務付けられています。各比率とも健全化基準を下回っており、財政状況が健全であることを示しています。



収支は8.1億円の黒字 (令和5年度への繰越額3.4億円を除く)

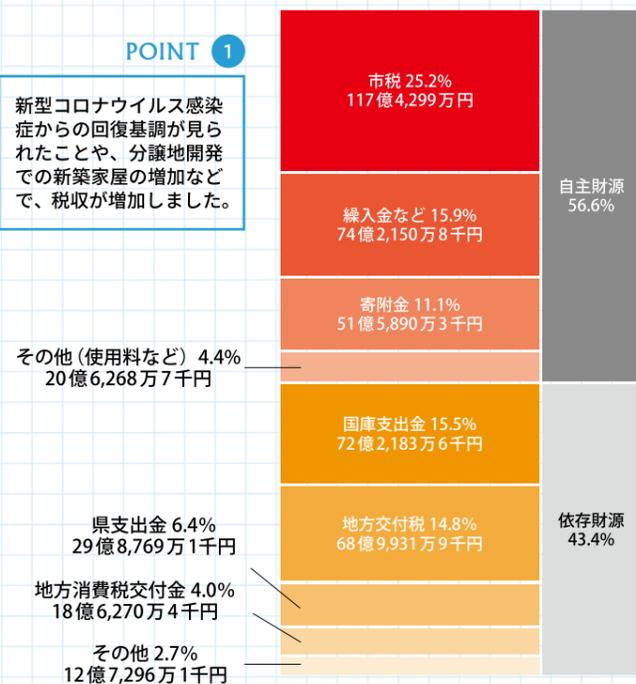
会計	歳入	歳出
普通会計	466億3,059万9千円	454億7,976万7千円
一般会計	466億638万4千円	454億5,584万7千円
文化会館事業	8,411万1千円	8,381万6千円
国民健康保険	74億5,412万7千円	74億4,186万3千円
後期高齢者医療	10億9,143万円	10億9,006万5千円
介護認定審査会共同設置事業	3,016万円	3,016万円
介護保険事業(保険事業勘定)	66億5,158万2千円	64億4,564万9千円
介護保険事業(サービス事業勘定)	929万7千円	929万7千円
公営事業会計		
公営企業会計		
病院事業会計	151億1,140万9千円	145億3,289万3千円
水道事業会計	16億4,709万4千円	14億9,440万9千円
下水道事業会計	19億8,143万8千円	19億5,005万4千円

(普通会計間の取引経費は重複するため、控除して集計しています)

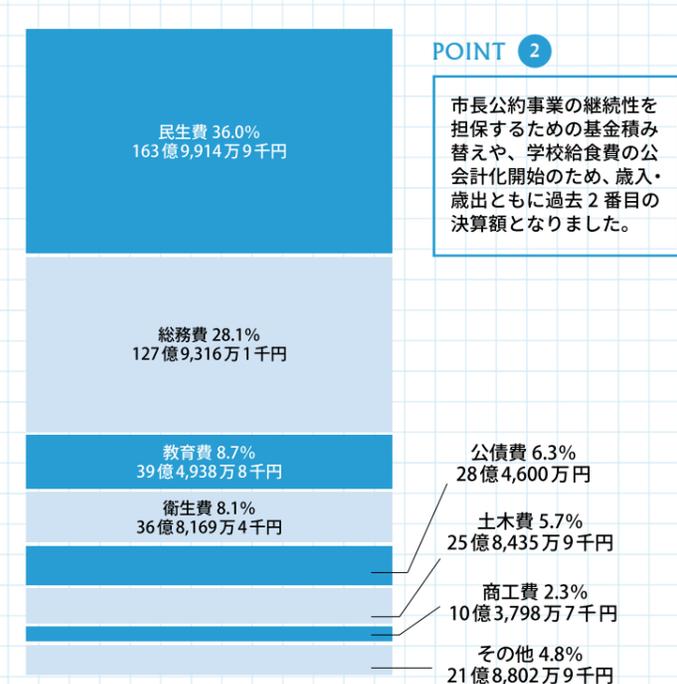
公営事業会計	収益	費用
公営企業会計		
病院事業会計	151億1,140万9千円	145億3,289万3千円
水道事業会計	16億4,709万4千円	14億9,440万9千円
下水道事業会計	19億8,143万8千円	19億5,005万4千円

歳入総額 **466億3,059万9千円** 歳出総額 **454億7,976万7千円**

POINT 1
新型コロナウイルス感染症からの回復基調が見られたことや、分譲地開発での新築家屋の増加などで、税収が増加しました。



POINT 2
市長公約事業の継続性を担保するための基金積み替えや、学校給食費の公会計化開始のため、歳入・歳出ともに過去2番目の決算額となりました。



問 財政課 TEL (36) 5750・FAX (32) 3237

第2期小西市政がスタートし、「市民が主役」「3世代が輪になって暮らせるまちへ」という理念のもと、子育て世帯への助成事業や、地域農業の活性化、価格高騰対策などを積極的に進めています。

令和4年度決算

詳しい内容は市ホームページで HP 25802

決算は、9月の市議会第3回定例会に上程し、決算特別委員会で審議されたのち、12月の第4回定例会で認定予定です。

1年間の成果

令和4年度もさまざまな事業を実施しました。
その一部をご紹介します。

はちっこぶっく号ミニを導入 本のまち！動く図書館事業



1,520万6千円

乳幼児期から読書習慣を身に付けてもらおうと、軽自動車改良型移動図書館車「はちっこぶっく号ミニ」を導入しました。絵本約400冊を載せ、図書館から遠い地域の未就学施設を巡回し、貸し出しやおはなし会を行っています。

給食費の負担を軽減 学校給食費多子世帯補助事業



3,698万1千円

令和4年10月から多子世帯の学校給食費負担を軽減するため、18歳以下の子を持つ世帯で小中学校に在籍する児童生徒を対象に第2子を半額、第3子以降を無料としました。また、私立・特別支援学校などの小中学校に通う児童生徒には給食費相当額を補助しました。

子育て世帯の医療費を助成 子ども医療費助成事業

1億7,827万8千円

子育て世帯の負担軽減を図るため、小学1年生から中学3年生までの子どもを対象に、病気やけがなどで医療機関などを受診した際の医療費を助成しました。



ブドウとナシの果樹棚を整備 津田干拓果樹団地整備事業



1,759万円

新たな果樹の産地づくりを目指し津田干拓地で約9haの果樹団地の整備に着手しました。令和4年度はブドウ2区画（約1ha）、ナシ4区画（約2ha）で果樹棚を整備しました。引き続き残りの区画も整備を進め、地域農業の活性化を図ります。整備期間は令和6年度までを予定しています。

スケートパークを整備 健康ふれあい公園施設整備事業



6,095万5千円

スケートボード・インラインスケートは、市内で活動できる場所が不足し、スケートパークの整備を望む声が多く寄せられていました。そこで、健康ふれあい公園・調整池を活用し、初心者から上級者までが楽しめる関西最大級のスケートパークを整備しました。

整備構想案を策定

安土コミュニティエリア整備事業 3,036万5千円

小学校・地域防災センター（コミュニティセンター）・消防分団詰所・放課後児童クラブの一体整備に向けて、現況測量・用地測量を行い境界確認を実施しました。また、エリアに必要な機能や規模をまとめた安土コミュニティエリア整備構想（案）を策定しました。

新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策

国・県の要請に対応した事業に加え、市独自の施策を速やかに切れ目なく実施しました。
市の独自施策の一部をご紹介します。

じもと応援クーポン&チケット事業

4億1,241万円

市民一人当たり5,000円（クーポン3,000円、チケット2,000円）を配布し、市内経済の活性化と市民生活の支援を図りました。



ふるさと観光券事業

2億2,050万6千円

観光事業者への支援として、市内の観光商品を取りまとめたガイドブック・ウェブサイトを作成し、掲載商品に使える、ふるさと観光券10,000円分を5,000円で市内外へ累計19,985冊販売し、観光業の活性化を図りました。



オンラインで施設予約が可能に 施設予約システム導入事業



1,894万2千円

市内各施設を予約する際は来館が必要でしたが、オンラインで公共施設の予約ができるシステムを導入しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止と合わせ、市民サービスの向上と予約に関する事務効率の向上が期待できます。



商工業振興事業

1億4,586万円

経済停滞や燃料高騰の影響を受ける事業者などの事業継続を支援するため、前年などと比較し売り上げが減少した事業者に対し「事業継続応援金」を、新たな人材を雇用した事業者に対し「地域事業者雇用促進事業補助金」を、事業に使用する車両に対し「燃油高騰対策事業者支援金」を交付し、雇用促進と経営の安定化を図りました。

電力・ガス・食料品などの物価高騰対策として 商工業と農業の支援を行いました。



農業振興事業

4,547万4千円

燃油や肥料などの価格高騰により、施設園芸の加温栽培を行う農業者に対し「燃油価格高騰対策支援事業補助金」を、米・麦・大豆・野菜などを生産し販売する認定農業者などに対し「農業用燃油等高騰対策緊急支援事業補助金」を、化学肥料使用量の低減に向けて取り組む農業者に対し「肥料価格高騰対策事業補助金」を交付し、経営の安定化を図りました。

